



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 ゼビオホールディングス株式会社  
 コード番号 8281 URL <http://www.xebio.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 諸橋 友良  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ財務担当執行役員 (氏名) 中村 和彦  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6870-6008

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	180,364	8.0	7,459	36.4	7,956	7.9	5,220	13.6
2022年3月期第3四半期	167,045	11.6	5,469	125.3	7,371	138.2	4,596	417.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 5,395百万円 (16.5%) 2022年3月期第3四半期 4,631百万円 (361.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	118.07	117.58
2022年3月期第3四半期	103.97	103.59

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	223,536	122,692	54.6	2,763.05
2022年3月期	208,308	118,708	56.8	2,674.23

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 122,156百万円 2022年3月期 118,230百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期		15.00			
2023年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	241,516	8.2	7,031	40.6	7,685	2.1	4,115	7.3	93.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	47,911,023 株	2022年3月期	47,911,023 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,700,257 株	2022年3月期	3,699,987 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	44,210,919 株	2022年3月期3Q	44,211,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績等はこれらの予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス第7波、第8波の感染拡大が到来した中でも大きな行動制限が無かったこともあり、持ち直しの動きが見られました。先行きについては、ウィズコロナの下で各種政策による景気の持ち直しが期待されているものの、為替変動や物価上昇などを要因とした下振れリスクも懸念されております。また、食品やエネルギーなどの生活必需品の値上げが拡大し、消費者の生活防衛意識はますます高まっています。

スポーツ用品販売業界におきましては、部活動を始めとする学校活動やスポーツ大会の再開及びサッカーワールドカップの開催により、一般競技スポーツ商品の需要が高まりました。また、コロナ影響の段階的な解消による外出機会の増加に伴うシューズ、バッグ、カジュアルウェアを始めとしたライフスタイル商品の需要回復も見られました。一方で、コロナ禍で市場拡大してきたゴルフやアウトドアレジャーなどの屋外スポーツ需要は、一巡の兆しが見られます。

この様な状況の中、当社グループは、店舗のスクラップ&ビルドや改装による競争力向上を図ると同時に、地域と連携したヤングアスリート層の取り込みや急回復が期待できるインバウンド需要の獲得などによるシェア拡大に努めました。また、円安やエネルギー価格の高騰を背景とした商品原価、店舗運営コストの上昇がある中、接客サービスの強化による一品単価、客単価向上に注力しました。

新規出店及び閉店につきましては、当第3四半期連結累計期間では27店舗を出店し18店舗を閉店しました。これらにより、当第3四半期末におけるグループの総店舗数は908店舗となり、グループ合計の売場面積は前連結会計年度末に比べて932坪増加し201,459坪となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,803億64百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益74億59百万円（前年同期比36.4%増）、経常利益79億56百万円（前年同期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益52億20百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

#### 〔主な商品部門別の営業概況〕

##### <ウィンタースポーツ部門>

ウィンタースポーツ部門では、コロナ禍でのサプライチェーン混乱による商品投入遅延を要因とする販売機会損失の影響もありましたが、都心部のシェア拡大を図ったことによる新規顧客の獲得により堅調に推移しました。以上の結果ウィンタースポーツ部門の売上高は、前年同期比0.6%の増加となりました。

##### <ゴルフ部門>

ゴルフ部門では、近年ビギナー層を中心とした市場拡大に一巡の兆しが見られる中、フィッティング販売による接客サービス強化を図ったことにより客数も増加し、引き続き好調に推移しました。以上の結果、ゴルフ部門の売上高は、前年同期比10.8%の増加となりました。

##### <一般競技スポーツ・シューズ部門>

一般競技スポーツ・シューズ部門では、部活動やスポーツ大会に向けた需要が回復傾向にあることに加えて、3年ぶりに行動制限のない長期休暇や各種政策による人流の回復に伴い、タウンシューズやウォーキングシューズが前年を上回りました。以上の結果、一般競技スポーツ・シューズ部門の売上高は、前年同期比8.3%の増加となりました。

##### <スポーツアパレル部門>

スポーツアパレル部門では、一般競技スポーツの需要回復に加えて、天候にも恵まれたこともあり堅調に推移しました。以上の結果、スポーツアパレル部門の売上高は、前年同期比1.2%の増加となりました。

##### <アウトドア・その他部門>

アウトドア・その他部門では、キャンプ市場の拡大が一巡してきている一方で、トレッキングはカジュアル層を中心に山登り需要が回復傾向にあります。加えて、12月の降雪影響が大きくスノーシューズが好調に推移しました。以上の結果、アウトドア・その他部門の売上高は、前年同期比6.0%の増加となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、新規出店とゴルフ部門の強化により商品が増加し、店舗向け投資やシステム投資により固定資産が増加しました。一方で、現金及び預金は長期借入金の返済により減少しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ152億28百万円増加し2,235億36百万円となりました。

負債は、秋・冬物商品の仕入に対する支払手形及び買掛金並びに電子記録債務が増加しました。また、長期借入金の一部を返済しました。以上の結果、前連結会計年度末に比べ112億44百万円増加し1,008億44百万円となりました。

また、純資産は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ39億83百万円増加し1,226億92百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表致しました連結業績予想から修正は行なっておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,893	35,714
受取手形及び売掛金	22,477	27,369
営業貸付金	967	894
商品	75,921	84,465
未収還付法人税等	1	12
その他	8,043	9,407
貸倒引当金	△292	△426
流動資産合計	147,012	157,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,403	51,490
減価償却累計額	△36,192	△37,230
建物及び構築物 (純額)	14,211	14,260
土地	13,910	13,984
リース資産	2,780	6,091
減価償却累計額	△1,424	△1,717
リース資産 (純額)	1,356	4,374
建設仮勘定	75	396
その他	21,304	22,333
減価償却累計額	△18,965	△19,498
その他 (純額)	2,339	2,834
有形固定資産合計	31,891	35,851
無形固定資産		
のれん	716	412
ソフトウェア	1,854	3,490
その他	2,924	2,987
無形固定資産合計	5,495	6,891
投資その他の資産		
投資有価証券	727	863
長期貸付金	24	14
繰延税金資産	4,852	4,422
差入保証金	1,851	1,623
敷金	14,142	14,160
投資不動産	3,126	3,131
減価償却累計額	△1,276	△1,295
投資不動産 (純額)	1,849	1,836
退職給付に係る資産	139	104
その他	582	585
貸倒引当金	△260	△253
投資その他の資産合計	23,908	23,356
固定資産合計	61,295	66,099
資産合計	208,308	223,536

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,388	25,206
電子記録債務	28,099	38,666
短期借入金	770	800
1年内返済予定の長期借入金	5,953	1,817
未払法人税等	1,808	975
賞与引当金	1,470	723
役員賞与引当金	15	10
ポイント引当金	91	85
その他	14,087	15,707
流動負債合計	74,684	83,991
固定負債		
長期借入金	6,459	5,255
リース債務	2,001	4,969
退職給付に係る負債	905	814
役員退職慰労引当金	59	59
資産除去債務	4,640	4,805
その他	849	948
固定負債合計	14,915	16,853
負債合計	89,599	100,844
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,935	15,935
資本剰余金	16,119	16,119
利益剰余金	92,427	96,321
自己株式	△6,498	△6,498
株主資本合計	117,984	121,878
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	131
為替換算調整勘定	638	528
退職給付に係る調整累計額	△439	△381
その他の包括利益累計額合計	245	278
新株予約権	435	368
非支配株主持分	42	167
純資産合計	118,708	122,692
負債純資産合計	208,308	223,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	167,045	180,364
売上原価	100,607	109,976
売上総利益	66,437	70,387
販売費及び一般管理費	60,968	62,928
営業利益	5,469	7,459
営業外収益		
受取利息	41	29
受取配当金	10	11
不動産賃貸料	464	503
為替差益	32	30
業務受託料	218	235
助成金収入	1,372	93
その他	456	289
営業外収益合計	2,597	1,194
営業外費用		
支払利息	72	54
不動産賃貸費用	340	342
業務受託費用	181	232
その他	101	67
営業外費用合計	695	697
経常利益	7,371	7,956
特別利益		
固定資産売却益	6	6
受取保険金	75	173
受取和解金	—	72
受取移転補償金	—	143
新株予約権戻入益	27	102
預り保証金解約益	—	9
関係会社株式売却益	102	—
特別利益合計	211	506
特別損失		
固定資産除却損	268	110
固定資産売却損	3	0
賃貸借契約解約損	—	21
投資有価証券評価損	149	—
減損損失	—	2
店舗閉鎖損失	1	—
特別損失合計	421	135
税金等調整前四半期純利益	7,161	8,327
法人税、住民税及び事業税	2,657	2,593
法人税等調整額	△117	370
法人税等合計	2,540	2,964
四半期純利益	4,620	5,363
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	143
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,596	5,220

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	4,620	5,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	84
為替換算調整勘定	△68	△109
退職給付に係る調整額	53	57
その他の包括利益合計	11	32
四半期包括利益	4,631	5,395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,608	5,252
非支配株主に係る四半期包括利益	23	143

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。